

シルバー連合会

第22号

【平成19年7月発行】



能古島風景

目次

- 平成19年度 第1回定期総会
理事長及び事務局長会議開催..... 1
- 平成18年度 第2回定期総会
役職員研修会開催..... 2
- 平成19年度 主要事業計画のあらまし... 3
- 平成19年度 安全・適正就業対策
実施計画..... 4
- 平成18年度統計に見る
福岡県SC情報..... 5
- 研修会報告..... 7
- 広域受注、需要調整の取り組み..... 9
- 安全就業ニュース..... 10
- 平成19年度 シニアワークプログラム
技能・介護講習実施計画..... 11
- センターだより..... 13
- 一言コーナー / 作品募集！..... 14
- 今月の表紙 / 編集後記

選出された新役員

挨拶する後藤連合会会長



議長を務める筑前町SC竹房理事長



平成19年度 第1回定期総会

理事長及び事務局長会議開催

6月21日(木) 博多都ホテル

新役員名簿

平成19年 6月24日現在

役職名	氏 名	所 属	備考	役職名	氏 名	所 属	備考
会 長	後藤 達太	福岡市 SC 理事長	再	理 事	吉永 宗彦	豊前市 SC 理事長	新
副会長	木村 隆	北九州市SC 理事長	再	理 事	内藤 康治	直方市 SC 理事長	新
副会長	山上 智勇	飯塚市 SC 理事長	新	理 事	石橋 郁朗	久留米市SC 理事長	再
副会長	松尾 昇	小郡大刀洗広域SC 理事長	再	理 事	一ノ瀬 清	大牟田市SC 理事長	再
常務理事	金丸 安岑	福岡県SC 連合会事務局長	再	監 事	松嶋 秀彦	太宰府市SC 理事長	再
理 事	吉田 紀之	那珂川町 SC 理事長	再	監 事	鴻江 壽喜	八女広域SC 理事長	再
理 事	大塚 俊一	福津市 SC 理事長	新				

注) SC→シルバー人材センター

平成19年6月21日(木)午後1時30分から福岡市の「博多都ホテル」において、平成19年度第1回定期総会が開催されました。

総会は、後藤達太連合会会長の挨拶にはじまり、来賓を代表して福岡労働局の石田茂雄職業安定部長と福岡県生活労働部の松永大四郎労働局長から祝辞をいただきました。

議長に筑前町シルバー人材センターの竹房和美理事長が選出され議事が進められました。当日審議された案件は、「定款の一部を改正する定款(案)」「平成18年度事業報告」「平成18年度決算報告及び監査報告」「平成19年度事業計画の一部変更(案)」「平成19年度補正予算(案)」「役員選任」の6件が審議され、いずれも可決承認されました。

なお、任期満了により役員の改選が行われましたが、新役員の方は上表のとおりです。

定期総会終了後、理事長及び事務局長会議を開催しました。事務局長会議は、毎年2回程度開催していますが、理事長と合同による会議は今回が初めてです。

当日は、6月12日開催の全シ協主催全国都道府県連合事務局長会議の概要について連合会金丸事務局長から報告しました。

なお、今後も理事長会議又は事務局長との合同会議を開催してシルバー人材センター事業執行方針や事業運営に関する情報の提供などを行うことが必要ではないかと思われまます。

平成18年度 第2回定期総会

役職員研修会開催

3月23日(金) 博多都ホテル

平成19年3月23日(金)午後1時30分から福岡市の「博多都ホテル」において、平成18年度第2回定期総会が開催されました。

開会に先立ち後藤達太連合会会長から挨拶があり、続いて来賓の福岡労働局の石田茂雄職業安定部長と福岡県生活労働部の原田克彦労働局長から祝辞をいただきました。

議長に豊前市シルバー人材センターの吉永宗彦理事長が選出され議事が進められました。当日審議された案件は、「平成18年度補正予算(案)」「平成19年度事業計画(案)」「平成19年度収支予算(案)」の3件が審議され、いずれも可決承認されました。

定期総会終了後引き続き、役職員研修会が開催されました。

すがのみわこコンサルティングオフィス社会保険労務士菅野美和子氏を講師に「いきいきライフプランのすすめ」の演題で講演をいただきました。

話は、高齢者にとって一番関心がある「年金問題」を中心にして、税金対策、医療保険制度、財産管理など高齢者の日常生活に直結したもので、特に、セカンドライフ(定年退職後、60歳以後)の生活の基盤は年金であることから、年金制度の仕組みと請求手続きについて詳しい話があり(年金は受給資格年齢になっても本人が請求しないともらえないこと)中でも年金制度改正による4月スタートの年金分割について「夫妻仲良く、老いては妻に従いなさい」と男性役職員にとって説得力がある話など高齢者の生き方についていろいろヒントを与えていただきました。



挨拶する後藤連合会会長



議長に選任され挨拶する豊前市SC吉永理事長



講演する菅野美和子さん

平成19年度 主要事業計画のあらまし

国の平成19年度シルバー人材センター事業予算がほぼ前年度並みで確保されたことは、行財政改革による極めて厳しい状況の中にあつて、シルバー事業の重要性が評価されたものと考えられます。平成19年度事業計画の骨格では、団塊の世代の退職を迎えシルバー人材センターが果たす役割、行財政改革への対応等2010年度を目途に対策の構築を進めることが示されています。

全シ協においても、シニアワークプログラム事業を含めて、これらに対応する事業の見直し・検討が行われ、福岡県連合会においても、これらの情勢の変化に対応した事業計画を策定しました。

今後更なる補助金の削減が予測され、また、シニアワークプログラム事業の行方が危惧される中にあつて、シルバー人材センターのなご一層の自立運営基盤の確立が求められています。

こうした問題認識のもと、福岡県連合会と各シルバー人材センターは一体となつて、現状と実態を見つめ直し、新しい時代に即応した発展方向を目指すこととします。

重点事業項目

1 安全・適正就業推進事業の強化

- (1) 安全・適正就業対策委員会の開催
- (2) 安全・適正就業パトロールの実施
- (3) 安全就業促進大会の開催
- (4) 安全・適正就業推進員研修会の開催ほか

2 普及啓発活動の推進

- (1) 機関誌「シルバー連合会ふくお

か」の発行
シルバーの日（10月20日）に街頭などで広報活動実施
ボランティア活動の推進（河川清掃等）
インターネットの活用
シルバー人材センターホームページ開設の推進ほか

3 調査研究事業

- (1) 高齢者の雇用・就業に向けた調査研究を行う。
- (2) 業務年報の作成
- (3) 月次統計の集計・分析
シルバー事業広域受注、需給調整推進委員会の開催ほか

4 センター未設置地域の解消 指導・相談業務の実施、強化

- (1) 全シ協（指導員）及び連合会職員による個別指導
- (2) 連合会職員及び専門家による社団法人センターに対する会計指導・相談業務
- (3) 連合会職員による小規模センターの指導・相談業務
- (4) 業務相談実施後の改善状況の報告聴取、改善支援ほか

6 福祉・家事援助サービス事業の推進

- (1) 高齢者活用生活援助サービス事業担当職員、リーダー会員、会員対象研修会の開催
- (2) ガイドヘルパー養成講座の開催
- (3) 障がい者生活支援フォローアップ研修会の開催ほか
- (4) 高齢者活用子育て支援事業
子育て応援会員養成講座（基礎・実践）の開催

7 無料職業紹介の実施

高齢者活用子育て支援事業活性化委員会（略称「みんな子育て活性化委員会」）の設置、会議の開催ほか

地域高齢者社会参加促進事業の実施

情報システム活用事業の推進

講習・研究会等事業の実施

関係行政機関、団体との連携

諸会議の開催（専門員会等を除く）

シニアワークプログラム事業

企画競争への参加及び推進

技能講習（短期）

事務補助（33コース）、警備業務（8コース）、果樹栽培アシスト（7コース）、襖・障子貼り（6コース）その他 計114

コースについて、シルバー人材センターごとの地域の就業ニーズに沿って、関係機関と連携して実施する。

技能講習（長期）

樹木・緑地管理（9コース）、パソコン実務（9コース）、会計補助（7コース）その他 計38

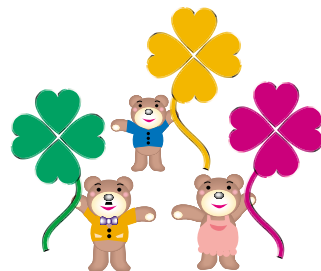
コースについて、福岡県内の就業ニーズに沿って、事業主団体・関係機関と協力して実施する。

介護講習（長期）

訪問介護員養成研修2級課程について、地域のニーズ等を勘案して、主にブロックごとに実施する。（9コース）

平成19年度

安全・適正就業対策 実施計画



この3点が確実に実施されれば事故は激減すると思われます。せっかくの発注があつたので担当者としては何とか受注したいのは人情でしょうが、安全作業かどうか十分に確かめないまま受注したため、事故につながつた例は少なくありません。

就業開始に際して安全な作業に障害となるような状況はないか、わずかな時間を割いて打合せや下見をしていれば未然に防げた事故もあつたと思われます。たぶん大丈夫だろう、ではなく危険かもしれない、という考えで進みたいものです。

またヘルメットをはじめ安全保護具をルール通りに着用していれば事故は最小限に防げたであろう事例はよくあることです。

次に、本年度の安全・適正就業対策実施計画は次のとおりです。

① 昨年に引き続き委員会によるセンターの安全・適正就業パトロールを実施します。

パトロールにより実情を確認し、安全就業についてのさらなる徹底をお願いするとともに、優れた取り組みについては他のセンターに紹介します。

② 安全就業促進大会を7月19日(木)に開催いたします。

「安全」についての知識は一度習得すればいいという種類のものではなく、常に身近に意識しておくことが必要です。大会は安全意識の高揚がねらいです。

③ 安全・適正就業推進員研修会を開催いたします。

各センターの推進員の方々の様々な情報の交換の場として活用されることを願っています。

④ センター等に対する支援について

各センターの安全・適正就業の取り組みについて情報を収集するとともに、各センターに情報提供を行います。

⑤ 事故報告を昨年に引き続きセンターにお願いしています。

事故報告書を提出していただくことにより事故の実態がつかめてきました。このデータはこれからの安全対策に役立ちます。同じ事故は二度と繰り返したくありません。

事故報告書を提出していただくことにより事故の実態がつかめてきました。このデータはこれからの安全対策に役立ちます。同じ事故は二度と繰り返したくありません。

平成19年度第1回の安全・適正就業対策委員会が4月26日に連合会会議室において開催され、安全・適正就業対策推進基本計画に基づく19年度の安全・適正就業対策実施計画が次のようにきまりました。

まず本年度は次の3点を重点目標として設定いたしました。

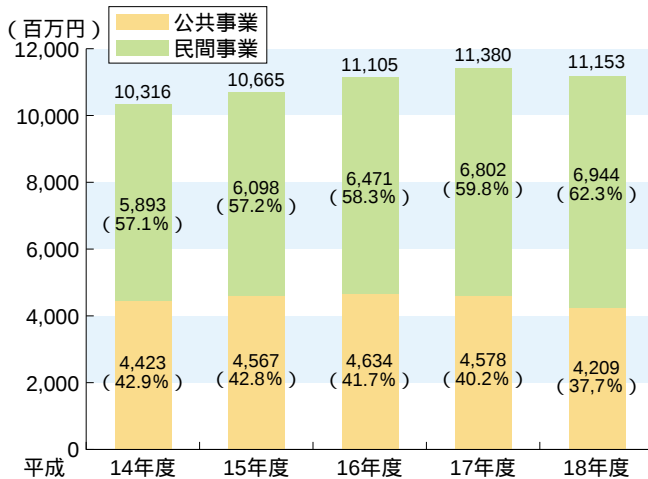
- ① 受注時の安全・適正就業確認の徹底
- ② 危険予知活動の徹底
- ③ 安全用具着用の徹底

平成18年度統計に見る福岡県SC情報

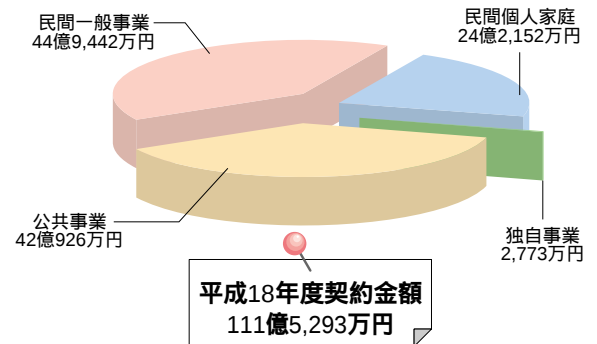
県内センターの年度統計を項目別に分析

契約金額

平成14年度～18年度契約金額の推移

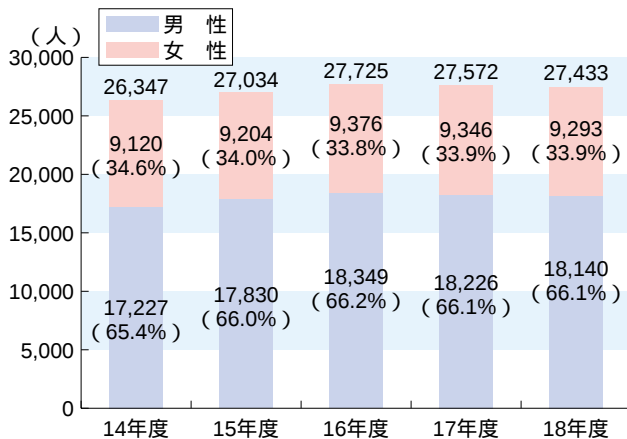


総契約金額内訳

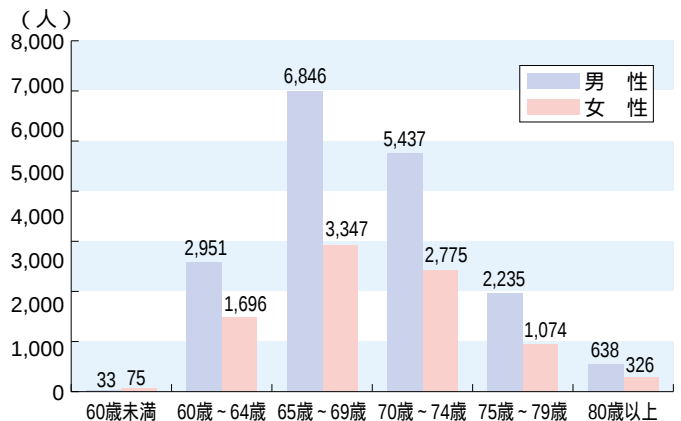


会員等情報

平成14年度～18年度会員数の推移



会員年齢別構成

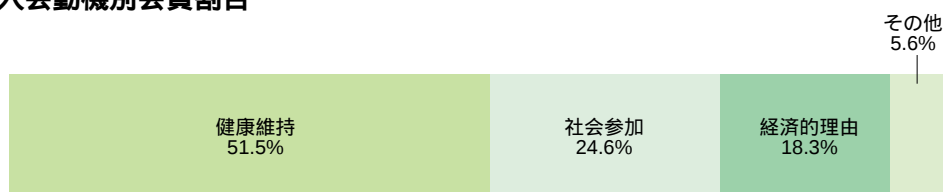


	男 性	女 性	全 体
会員平均年齢（県内）	69 5歳	69 3歳	69 4歳
最高年齢	96歳	89歳	
18年度入会会員数	2,785人	1,476人	4,261人
18年度退会会員数	2,866人	1,518人	4,384人
18年度会員数	18,140人	9,293人	27,433人

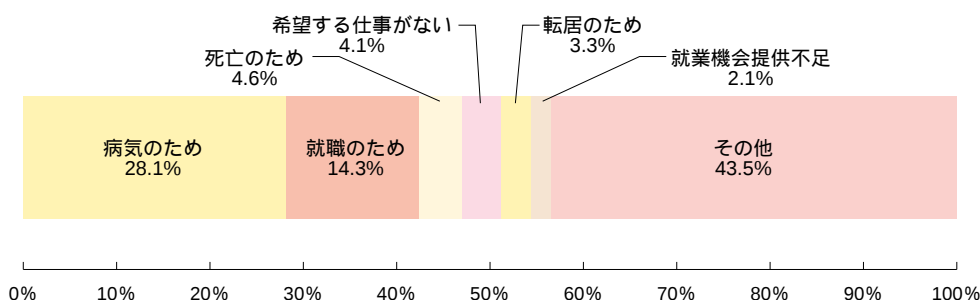
福岡県内（平成18年度3月末会員数27,433人）会員は平成17年度をピークに減少傾向にあります。

会員の年齢別構成は上図のように分類され、60歳未満の108名は入会時59歳も含まれるためこの数値となっています。また、80歳以上の会員が964名（男女合計）在籍しますが、この数値は総会員数の3.5%を占める割合です。

入会動機別会員割合



退会理由別会員割合



入会の動機は健康維持が過半数を占めますが、経済的理由の18.3%も見逃せません。

退会理由別会員の割合では、「その他」が多く、その中には会費未納などが含まれています。退会理由の「希望する仕事がない」「就業提供不足」などは今後センターとして考慮しなければならない点と思われます。

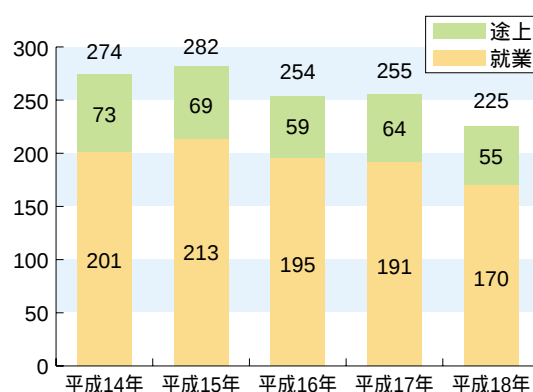
会費・事務費等

	最 低	最 高	平 均
正会員年会費	1,000円	2,000円	1,170円
事務比率 公共	8%	15%	9.9%
民間	8%	10%	9.8%

傷害保険

全センター確定保険料総額	5,950万円
1センター当りの平均保険料	135万円
会員一人当たりの平均保険料	2,169円
保険会社から支払われた傷害保険金総額	4,237万円
支払われた最低金額	2,000円
支払われた最高金額	900万円
1センター当りに支払われた保険金額(平均)	96万円

年度別傷害事故件数



賠償保険

全センター賠償保険料総額	1,041万円
保険会社から支払われた賠償保険金(身体)	4件 66万円
保険会社から支払われた賠償保険金(財物)	139件 1,055万円
センターに支払われた賠償保険金総額	1,121万円

研

修

会

報

告

平成19年1月以降に開催した研修会の開催状況について報告します。

毎年度各種研修会を開催していますが、連合会及びシルバー人材センターの行事計画等との時期調整で毎年度とも年度後半に開催時期が集中しているところです。

研修会講師は、従来通り一部の講義を除き当連合会職員が担当いたしました。

連合会主催研修会について、既に実施した事務局長アンケートの際、様々なご意見・ご要望等をいただいております。その中で、新たに中間管理的職員対象研修について要望がありましたので、従来の業務別研修とは異なって業務全般にわたる総合的な研修を計画し、「中堅職員研修会」を開催しました。

この研修会を含め連合会主催研修会の在り方について、ご意見をいただいております。今後各種研修会の開催にあたりご意見・ご要望等を要約して検討・企画する予定です。

安全・適正就業推進員研修会

平成19年1月26日(金)
博多パークホテル
72名参加



連合会職員による「講義」と「全シ協主催安全・適正就業指導員研修報告」の後、参加者は7班に分かれてグループ討議を行いました。

今までの研修会は、参加者は講義や報告などを一方的に聴く立場でしたが、参加者自身が研修効果を体得するような方法はないか検討し「グループ討議」を採用入れることにしました。

当日は、「事故分析と再発防止策」をテーマに各班とも熱心に討議していただきました。時間設定の関係で討議が不十分の状況で終了しましたが、初めての企画にしては成果が得られたのではないかと思います。

経理実務研修会

平成19年2月2日(金)
福岡センタービル
62名参加

連合会金丸事務局長の講義の後、連合会職員による「会計関係業務の適正な運用について」と公認会計士越智大氏（あずさ監査法人）による「新公益法人会計基準における決算処理について」の講義がありました。

平成18年度決算は、新公益法人会計基準に移行して最初の決算になりますので、決算の事務処理に遺漏がなく、また、容易に行うための事前準備について要点をまとめた話がありました。

中堅職員研修会

平成19年 2月15日(木)～16日(金)

ホテルセキア

46名参加



前掲の事務局長アンケートの結果を受けて1泊2日の日程で開催しました。

以前、福祉・家事援助サービス担当、業務担当の研修会は1泊2日(ホテルセキア)で開催した経緯があり、この前例を参考にして日程、場所を設定しました。

外部講師を招聘しない「手づくりの研修」を企画して、1日目の講義は全て連合会職員3名で担当、2日目は分科会(グループ討議)を行いました。前日の意見交換会と併せ分科会での討議において職員間で交流の機会が発生して、今後職員間、センター間で情報交換や視察・調査などについて経験交流の機運が高まるものと期待されるところです。



福祉・家事援助サービス(会員対象)研修会

平成19年 2月23日(金) 大博多ビル 367名参加

連合会は平成10年度から福祉・家事援助サービス事業(平成13年度から子育て支援)を実施していますが、この研修会も事業開始の平成10年度から毎年度開催しています。

この研修会は、福祉・家事援助・子育て支援に就業している会員の参加をいただいて、県下4ブロックから選出された会員の事例発表と講演を行っています。

今回は、山田忠子さん(柳川市SC)、青柳邦子さん(古賀市SC)、長濱加代子さん(飯塚市SC)、吉岡とよ子さん(北九州市SC)の4名から、それぞれ就業体験に基づいた事例発表があり、参加者一同は心の琴線にふれる素晴らしい感動に包まれました。

講演は、社会福祉法人福岡ひかり福祉会第2宅老所よりあい所長村瀬孝生氏の「ぼけてもいいよ～地域で老いをどう支えるか、実践の現場から～」と題した講演がありました。

例年通り今回も最後まで熱心にご参加いただいて研修会は盛会に終了し、会場を去る参加者の充実した表情が印象的でした。

連合本部及び活動拠点監事研修会

平成19年 3月1日(木)

福岡センタービル 62名参加

平成16年度から開始して3回目になります。全国的にもこのような監事研修会を開催している連合会は極めて稀であると思われます。

この研修会は、監事の役割と監査の方法等について監事の理解を深めていただき、シルバー人材センターの事業運営について適正執行を図ることを目的に実施しております。

講師は、連合会職員と公認会計士(あずさ監査法人)が担当しており(第1回はシルバー人材センターの監事(税理士)も担当)、今回は別掲の経理実務研修会に準じて公認会計士(あずさ監査法人)から講義をしていただきました。

広域受注、需給調整の取り組み

～シルバー人材センター事業における広域受注、需給調整推進委員会の活動～

複数の市町村にまたがる仕事の発注、受け付けや契約の一元化など、拡大する発注者のニーズに対応するため、福岡県シルバー人材センター連合会（以下、「連合会」といいます。）では、平成18年度に「シルバー人材センターにおける広域受注、需給調整委員会」を設置しました。その活動内容と取り組み状況を紹介します。

拡大する発注者のニーズと現行システムのジレンマ

インターネットによる仕事の問い合わせ、受注システムの「シルバーしごとネット」の運用が始まって3年、当初は福岡市や北九州市などの大都市圏に問い合わせが集中していましたが、現在では大都市圏域や周辺市町村にまで拡大し、その普及が拡大しつつあります。それに伴い、企業から複数の市町村にまたがる仕事の問い合わせなどもあるようになりました。

複数の市町村にまたがる草刈や、フランチャイズチェーン店の店舗清掃などは、発注者にとっては1箇所に問い合わせをし、その場で発注、契約ができた方が効率も良くコスト削減にも繋がりますが、現状では、各々の市町村にあるシルバー人材センターと個別の契約をしなければならぬため、時間と手間がかかってしまい、それを理由に仕事の発注をいただけない場合があります。また、センターに働くことができる会員がいない場合は、仕事をお断りすることもあります。

こうした現状を踏まえ、発注者本位のサービスを行うための、広域的な受注、会員不足などを解消する需給調整を行うシステムの構築を研究、検討することを目的として、平成18年11月21日、「シルバー人材センター事業における広域受注、需給調整推進委員会」（以下、「委員会」といいます。）が設置され、第1回委員会が開催されました。

委員会による検討、調査研究

第1回委員会では、福岡市、大野城市、宗像市、北九州市、豊前市、飯塚市、直方市、久留米市、小郡大刀洗広域の各センター及び連合会で構成されるメンバーの中から、北九州市シルバー人材センターの木村隆理理事長が委員長に選出され、広域受注を行うための諸課題、各センターの配分金基準などの情報収集や広域受注、需給調整に関する意向調査（ア

ンケート）の方法などが協議されました。委員会の趣旨については概ね賛同が得られたものの、配分金に地域差があることや、各センターの規程との調整が難しいことなどの課題が浮き彫りになりました。

第2回委員会では、具体的なアンケート内容の協議、すでに広域受注、需給調整に取り組んでいる他県の先行事例の検討などが行われ、これにより平成19年2月、アンケートを実施しました。

第3回委員会では、アンケート結果が提出され、分析内容についての検討が行われました。アンケートは、各センターの見積方法や発注者との調整、連合会が広域受注や需給調整を行うにあたっての参加可否を問うものでしたが、約半数のセンターが参加する意向を示し、残りの半数も出来上がったシステムを検討し対応を考えるとというものでした。センターからの意見としては、会員不足や発注者との条件不一致による契約の不成立などがあり、現在センターで抱えている問題が集約されました。

委員会の課題と今後

アンケート結果や各委員からの意見によつて、センターの見積基準と、発注者の希望に大きなひらきがあることも見えてきました。また、チラシ配布などの仕事は、都市部と都市部以外の地域では、作業に必要な手間に大きな差があることも今後の課題として残りました。

委員会では、中間報告を取りまとめ、今年度も継続してこうした課題を解決するための検討を重ね、年度内には連合会による広域受注や需給調整を試行し、システムを構築することを目標に置き、委員会事業を進めていくことにしています。

様々な課題はありますが、広域受注や需給調整は発注者の要望にスムーズな流れで対応し、複数のセンターで仕事の共有ができるというメリットも生み出します。実現に向けての委員会の活動が期待されます。

安全就業
ニュース

ひとつの事故から “用具安全袋”ができるまで

(社)小郡大刀洗広域シルバー人材センター

安全就業推進員 井上 貴子

昨年の9月、植木剪定就業中の会員がモ
チの木から枝伝いに降りるときに、一番下
の枝にかけておいた刈込みハサミの刃に腕
をひっかけ数針縫う怪我をするという事故
が起きました。翌日には剪定班全員に事
故の経過を通知し、高所作業には脚立を使
用すること、ハサミ等の取扱いには十分注
意することを確認しました。さらに安全
委員会では、より安全なハサミの取扱いに
関して実際に作業をする会員自身に考えて
もらうこととし、剪定班の課題としました。

会員一人ひとりが自分の問題として捉える
ことで安全意識が高まり、より強固な事故
防止対策になると思ったからです。

職群リーダー会議では、『最小限の用具
だけを持つ』という原則を立てて議論を進
めました。「樹上で休ませているハサミに
は保護サックをつける」、「ハサミの柄にヒ
モをつけて木にくる」などの意見に対し
て、「作業上煩わしいのでハサミを入れる
“袋”を作りフックで枝に下げてはどう
か」との結論に落ち着きました。それから
は、袋の落下防止対策には、破れない材
質には、等々の話し合いが更に続き、よう
やく“用具安全袋”がカタチになりました。

試作品を前にして再度議論も起こりました
が、「とにかく使ってから改善しようじゃな
いか」ということで、少しずつ前進してい
きました。実際に現場で使用してみると、枝
が込んでいる樹木ではヒモが引っ掛かるな
どの欠点もありましたが、安全確保にはこ
れまで以上に効果的な方法となつていま
す。

今回、何よりも会員自らで課題を解決し
たプロセスは素晴らしいとまた貴重であり、

大いに評価したいと思います。

次に取組んだ剪定樹木の高さ制限の課題
にも、数値の設定から運用の仕方までを検
討し、剪定班全員が発注者宅を訪問して回
り、説明し理解を求めるなど積極的に関
与しました。また同時に、機械・器具の点検や
メンテナンス、車両の管理等、人任せでな
く自主的に行動する会員が多くなったよう
に感じております。現場のパトロールでも
注意をする回数は減り、逆に感心させられ
ることも多くなりました。今回の一連の取
り組みで会員の安全に対する意識が一層高
まった結果だと思っています。

安全就業への取り組みには終わりがあり
ません。一歩進んだのも束の間、直ぐに二
歩後退ということもあります。会員自らが
考え行動したことですから、スタートした
ばかりのこの取り組みが形骸化することな
く、きつと根付いていくものと確信してい
ます。



▲用具安全袋を利用した作業風景



▲各班に備えている「用具安全袋」
中は塩ビ管、底は発砲スチロールを使用。
コンバイン袋をもらい受けて作成した。
オレンジ色の紐で上まで引き上げる。

平成19年度 シニアワークプログラム技能・介護講習実施計画

【連合会主催】

地域	種類	講習名	実施回数	講習日数	受講予定 (1回当たり)
福岡	長期	樹木・緑地管理講習	3	10	30
		パソコン実務講習	3	8	30
		パソコン保守管理講習	2	8	25
		会計補助講習	3	8	25
		マンション管理員講習	2	8	25
		オフィスクリーニング講習	2	8	25
		介護事務講習	2	8	25
		訪問介護員講習	3	23	30
	短期	警備業務講習	3	5	25
		経理補助講習	1	5	25
		事務補助講習	6	5	25
		社会保険入門講習	1	7	25
		剪定講習	2	5	25
		営繕講習	1	5	25
北九州	長期	樹木・緑地管理	2	10	30
		パソコン実務	3	8	30
		パソコン保守管理	1	8	25
		会計補助	3	8	25
		マンション管理員	1	8	25
		オフィスクリーニング	1	8	25
		訪問介護員	2	23	30
	短期	警備業務	3	5	25
		事務補助	2	5	25
		介護事務	1	8	25
県南	長期	樹木・緑地管理	3	10	30
		パソコン実務	2	8	30
		会計補助	1	8	25
		介護事務補助	1	8	25
		訪問介護員	2	23	30
	短期	警備業務	1	5	25
		事務補助	3	5	25
筑豊	長期	樹木・緑地管理	1	10	30
		パソコン実務	1	8	30
		訪問介護員	2	23	30
	短期	警備業務	1	5	25

【シルバー人材センター主催】

地域	種類	講習名	実施回数	講習日数	受講予定 (1回当たり)
福岡	短期	剪定講習	6	5	25
		警備アシスト講習	1	5	25
		経理補助講習	1	5	25
		事務補助講習	8	5	25
		筆耕講習	1	5	25
		襖・障子貼り講習	1	5	25
		ハウスクリーニング講習	2	5	25
		福祉スタッフ講習	2	5	25
		調理補助講習	3	5	25
		子育て支援講習	2	5	25
北九州	短期	造園アシスト講習	3	5	25
		剪定講習	3	5	25
		果樹栽培アシスト講習	5	5	25
		経理補助講習	1	5	25
		事務補助講習	5	5	25
		筆耕講習	2	5	25
		襖・障子貼り講習	1	5	25
		ハウスクリーニング講習	2	5	25
		福祉スタッフ講習	2	5	25
		子育て支援講習	1	5	25
県南	短期	造園アシスト講習	1	5	25
		剪定講習	5	5	25
		果樹栽培アシスト講習	2	5	25
		農業支援講習	1	5	25
		警備アシスト講習	1	5	25
		経理補助講習	2	5	25
		事務補助講習	4	5	25
		筆耕講習	2	5	25
		襖・障子貼り講習	1	5	25
		営繕講習	2	5	25
		ハウスクリーニング講習	1	5	25
		調理補助講習	2	5	25
		子育て支援講習	2	5	25
筑豊	短期	事務補助講習	5	5	25
		筆耕講習	1	5	25
		塗装実務講習	1	5	25
		刃物工具研磨講習	1	5	25
		襖・障子貼り講習	3	5	25
		ハウスクリーニング講習	1	5	25

講習期間及び会場はシルバー人材センター連合会、公共職業安定所、最寄のシルバー人材センターにお問い合わせください。

●シニアワークプログラムとは

厚生労働省の委託をうけ、60歳台前半層を中心とする高齢求職者を対象として事業主団体等の参画・協力のもと、新しい技能・知識を習得する技能・介護講習等を実施しています。

なお、平成19年度から「公共サービス改革法」の施行により企画競争入札契約となっています。

●応募資格

- 原則として60歳台前半層で仕事をお探しの方
- 雇用・就業中の方は応募できません
- 過去1年間に当連合会の各講習会を受講された方を除きます

■ シニアワークプログラム技能講習(第一種)科目別受講修了者数推移 ■

区 分	受講者別	14 年 度	15 年 度	16 年 度	17 年 度	18 年 度
警備・受付管理業務	一 般	145	133	107	83	90
	S C 会 員	24	30	29	23	25
	小 計	169	163	136	106	115
パソコン関係	一 般	172	178	233	182	234
	S C 会 員	9	18	21	28	13
	小 計	181	196	254	210	247
樹木・緑地管理	一 般	139	134	114	119	125
	S C 会 員	21	23	43	29	49
	小 計	160	157	157	148	174
社会保険入門	一 般	35	15	14	17	14
	S C 会 員	3	3	3	1	0
	小 計	38	18	17	18	14
その他 (介護事務) (ハウスキーパー) (褥・障子張替え)	一 般	-	-	33	19	53
	S C 会 員	-	-	5	1	14
	小 計	0	0	38	20	67
総 計	一 般	491	460	501	420	516
	S C 会 員	57	74	101	82	101
	合 計	548	534	602	502	617

■ 介護講習(第一種)等受講修了者数推移 ■

区 分	受講者別	14 年 度	15 年 度	16 年 度	17 年 度	18 年 度
訪問介護養成研修 2 級課程	一 般	135	160	165	170	93
	S C 会 員	103	69	57	37	31
	小 計	238	229	222	207	124
ガイドヘルパー	一 般	-	-	-	-	16
	S C 会 員	-	-	-	-	2
	小 計	0	0	0	0	18
総 計	一 般	135	160	165	170	109
	S C 会 員	103	69	57	37	33
	合 計	238	229	222	207	142

講師からのコメント

(社)福岡県樹芸組合連合会 小河先生



樹木の特性を知り、それに適応した基本的な管理技術に関する知識、適正な緑地管理技術を会得し、高齢者がいろいろの立場で生き生きと質の高い緑豊かな生活環境の創出に関われることを期待しています。

(社)福岡県警備業協会 井上先生



日本に警備業が誕生して45年、今では「生活安全産業」として、深く国民生活に係わりさらに発展しています。貴方(女)の知恵と経験を警備業界に託してみませんか。

麻生教育サービス株式会社 品川先生



事務関係分野等ですぐに活用できる技能、知識を身につけていただきます。講習会では、質問は遠慮なさらずお気軽に、積極的にお尋ねください。今後の就職活動支援に少しでもお役に立てればと思っています。

株式会社クローバーサポート 今村先生



訪問介護員の仕事は技術、知識に加え、人に対する思いやりなど、皆様が培ってこられた人生経験もたくさん活かせる職種だと思います。ホームヘルパー養成研修を受講して新たな扉を開いてください。

受講生からのコメント

受講修了後4ヶ月経過の就職状況追跡調査アンケートより

【社会保険入門講習】

H.Uさん(福岡地域)

受講したことで、その後の就職活動に非常に役にたちました。今後も高齢者就職支援講習会はぜひ継続して実施してほしい。

【警備業務講習】N.Sさん

(県南地域...合同面接で就職)

講習会、合同面接会の機会をいただいて感謝しています。

機関誌第17号（平成17年1月発行）をもって、当時の県下シルバー人材センターの紹介は一巡しました。

その後、市町村合併の進捗と同時にシルバー人材センターの統合が進み、当時のシルバー人材センターとは異なった枠組みのシルバー人材センターや未設置町村との合併によるシルバー人材センターなどそれぞれが新たな組織としてスタートしています。

そこで、前回のシルバー人材センター・紹介とは違う斬新な切り口によるシルバー人材センター・紹介を企画し、第1回は（社）那珂珂川町シルバー人材センターに担当していただきました。

ボランティア活動、地域行事への参加等を活発に、地域と密着した活動を展開されている状況をご紹介します。

以下、次号へ続けてご紹介いたしますので、ご協力ください。



（社）那珂珂川町シルバー人材センター

高齢者に社会参加を

平成四年五月、会員百五十六名で設立した当センターは、今や、四百八十名の大世帯となりました。入会率5・3%は都市近郊のセンターとしては高い入会率です。

就業率は87%ですが、月間平均就業率が50%台で二百三十名余りが未就業となっています。

・希望職種がない
・講習・研修会、旅行・愛好会等に参加する為
・情報収集、社会参加、ボランティア活動に参加したい

未就業理由はさまざまですが、これらの会員に活躍できる場所を提供するのにもシルバー人材センターの役目ではないかと考え、平成十五年に、世話人、班長他有志でプロジェクトチームを結成、会員百四十五名からなるボランティアグループ「すこやか



会」を立ち上げました。

当初は独居高齢者宅や高齢者世帯に目を向ける目的で進めておりましたが、個人情報保護法等により情報が得られず、誰でも気軽に参加できる環境美化活動に方向を転換し現在に至っています。

毎月第一・第三土曜日の早朝の一時間、町内主要幹線道路の清掃活動で、毎回軽トラックいっぱいのごみを拾っています。

今年五年目を迎え、参加人数は延べ三千五百名余りとなりました。

多い日は70～80名の参加があり、お孫さんと一緒だったり、会員以外の方の参加もあつて微笑ましい光景も見られます。

今後は、家族総出の早朝散歩を兼ねた環境美化活動になればと願っています。

この他にも、各愛好会による清掃活動や、福祉施設への慰問活動、町内各種イベントへの参加等、積極的な活動を展開しています。

「シルバー人材センターへ入会してよかった」と思われるような、高齢者の活躍の場と生きがいの場を提供できる、社会参加の拠点地となるよう取り組んでいます。





一言

コーナー

- 5月18日(金)博多区山王1丁目博多市民センターで開催された高齢者対象交通安全イベント「交通安全 in 山王」に参加する機会がありました。

これは、博多区役所、博多警察署等が主催するもので、昨年の福岡県下の交通事故死亡者の半数が65歳以上の高齢者となっている状況から、高齢者の交通事故防止対策に重点をおき、山王地区一帯をモデル地区として運動を展開していく趣旨で開催されたものであります。

会場は、博多区内に居住している高齢者や同区に関係する高齢者の人達が多く集い、福岡県警察本部の交通安全寸劇を観てなごやかな雰囲気の中それぞれが交通安全意識を高めました。ところがその帰りとんでもない光景を目にして驚きました。

イベントに参加した高齢者1人が、何と、筑紫通りの横断歩道がない場所を急ぎ足で往復したのです。

「横断歩道がないところは道路を横断しないこと」は小学生でも知っている交通ルールです。しかも、交通安全イベントに参加した帰りに、通行車輛が多い道路(片側2車線)でこのような行動をとられたことについて到底理解できるものではありません。

- 7月は全国安全就業強化月間です。

1人の不注意による事故は1人だけの問題に収まりません。センター全体の問題に波及し、信用を問われることもあります。しかし、何よりも怪我をした自分自身が一番損害が大きいことを肝に銘ずべきです。

今号の表紙



能古島風景

撮影者 北村健一氏

(社)福岡県シルバー人材センター連合会

業務兼安全・適正就業パトロール指導員

作品募集!

あなたのお気に入りの作品で「シルバー連合会ふくおか」の表紙を飾ってみませんか?

写真撮影の趣味をもっていらっしゃる方は数多いようです。そこで、編集委員会から次回の表紙を皆さんの自信のある写真で飾りたいという意見が出ました。自薦、他薦を問いませんが、作品は未発表のものに限ります。「風景、花、祭り、生活」など福岡県内のものを撮った作品をお送りください。採用された方には、連合会から粗品を進呈いたします。

なお、送っていただいた作品については、返却いたしませんので、ご了承ください。

【応募対象者】 福岡県内に在住の方

【写真の条件】 デジタルカメラのデータ(FD・CD)、フィルムカメラの写真を問わない解像度の良いもの

デジタルカメラ使用の場合は、300万画素数以上で撮影されたもの

【応募方法】 写真、データを同封の上、撮影者名、撮影した場所、年月日、その他コメントなどを添えて下記住所へ送付
1人3点以内

【締め切り】 平成19年10月末日

【掲載】 第23号(平成20年1月発行予定)の掲載(1点)をもって発表といたします。

【送り先】 〒812-0011

福岡県福岡市博多区博多駅前四丁目9番2号 YAOJI センタービル4F

(社)福岡県シルバー人材センター連合会

「シルバー連合会ふくおか」編集委員

編集後記



前号までの機関誌発行体制が人事異動等により変更し、今号から、新たに機関誌編集担当(5名)を置き機関誌を発行することになりました。早速、機関誌編集会議を開いて今後の編集方針等を協議しました。

「機関誌とは如何にあるべきか」「多くの人が関心を持つ企画とは何か」など基本的な論議から始まり、多数の企画案をまとめるのに一苦労するほど会議は初回から白熱したものであります。

その内容は、機関誌発行体制について、連合会事務局職員のみによる現行体制とは別に連合会事務局職員とセンター職員の間による体制編成について検討すべきではないか。アンケータ採用する。各種事業の報告に偏ることなくセンタースタッフの参考になるような情報の発信源になる。ユニークな記事を掲載して斬新な企画を加味する等々アイデアが続出しましたが、総括に至らず、今後協議を深めて行くこととして当面第22号の編集方針を固めました。

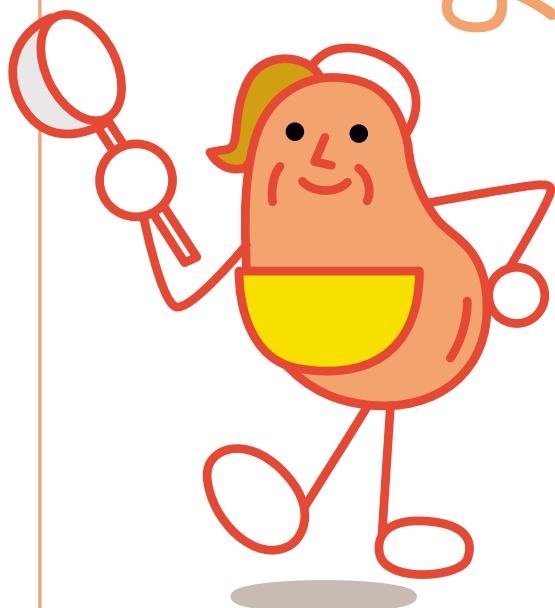
27,000部を手に入れた人達が満足されるような機関誌発行を望むところですが、現実は無理があるにしても、それに近づけるような紙面づくりを心がけるように確認したところです。とは言っても、福岡県シルバー人材センター連合会機関誌であることの基本姿勢は堅持しなければなりません。従来からの編集方針を骨子にして表現を少し変化させたり新企画を採り入れたら行にこぎつきました。

今号の発行にあたり、一部のセンターには原稿作成についてご協力いただき有難うございました。今後、各センターには原稿作成依頼等をさせていただきましますので、お引き受けいただきますようお願いいたします。

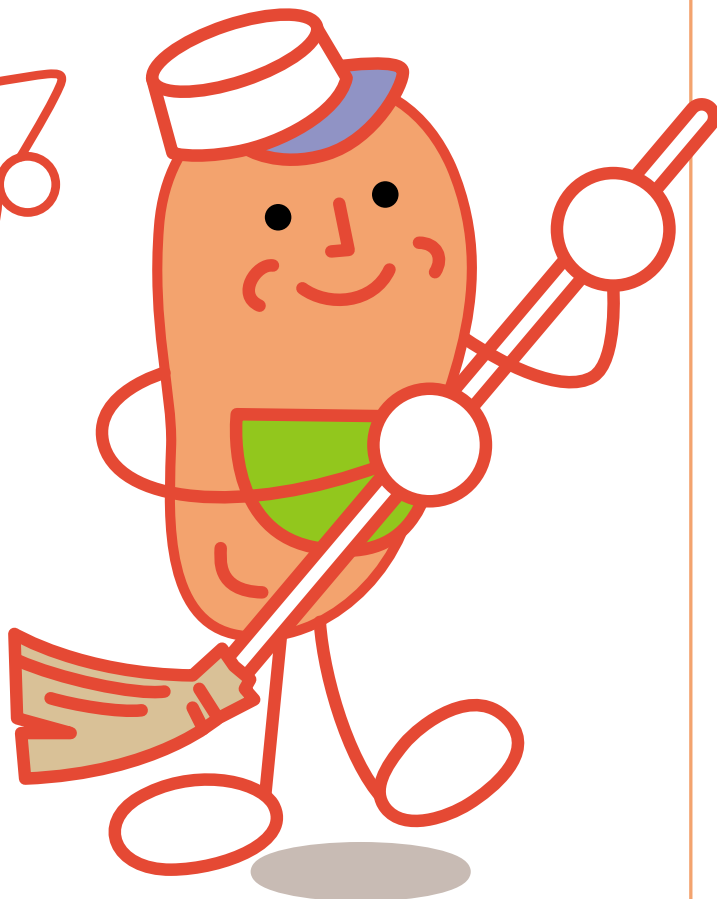
編集後記は、機関誌編集会議の責任者が担当するものと会議の総意に従い初めて筆をとりました。読み返すと総論が先走りした思いは否定できません。ご容赦ください。

第22号をお届けします。皆様のご感想・ご意見をお待ちしています。辛口のお批評歓迎します。

よろしくね。



いつも笑顔のたい子さん



頼りになるね めん太さん

新キャラクター登場! めん太さん&たい子さん

福岡のみんなに愛される「めんたいこ」をモチーフにいきいきとしたシルバースタッフを表現しました。大きなポケットの中には、知恵とキャリアがいっぱい。いつも笑顔でピチ元気に、シルバースタッフが活躍します。

そうたい!シルバーにおまかせたい!

お仕事
承り中!

もっと あなたの おなじみに。

シルバー人材センター

キャリアを活かしてお役に立ちます

- 植木剪定 ●除草・草刈り ●襖・障子張り
- 家事の手伝い ●子育て支援 ●高齢者の介助
- 一般事務 ●毛筆筆耕 ●施設管理 その他いろいろ

会 員
募集中

地域にお住まいの原則60歳以上の方で、健康で働く意欲のある方ならどなたでも。たくさんの出会いといきいきがあなたを待っています。

シニアワーク
プログラム
実施中

高齢者を対象とした技能講習事業を開講中。パソコン講習、訪問介護員(ホームヘルパー)養成研修など内容は多彩です。

ピリッと
気がきくね!



気くぱり犬 プチ

福岡県シルバー人材センター連合会

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4丁目9番2号

Y A O J I センタービル4F

TEL092-414-0287 FAX092-414-0297

(URL) <http://www.fscr.or.jp>



VOC(揮発性有機化合物)成分ゼロの地球にやさしいインクを使用しました。また印刷はISO14001認証取得工場にて行っております。